

# Karatsuba 法の概略

えびちゃん

2019 年 10 月 21 日

多項式  $A(x)$ ,  $B(x)$  が以下のように与えられる.

$$\begin{aligned} A(x) &= a_0 + a_1x + \cdots + a_nx^n, \\ B(x) &= b_0 + b_1x + \cdots + b_nx^n. \end{aligned}$$

このとき, その積  $A(x) \cdot B(x)$  を求めたい.

$$A(x) \cdot B(x) = a_0b_0 + (a_0b_1 + a_1b_0)x + \cdots + a_nb_nx^{2n}.$$

ここで, まず  $A(x)$  を以下のように分解することを考える.

$$\begin{aligned} A(x) &= a_0 + a_1x + \cdots + a_{\lfloor n/2 \rfloor}x^{\lfloor n/2 \rfloor} + a_{\lfloor n/2 \rfloor + 1}x^{\lfloor n/2 \rfloor + 1} + \cdots + a_nx^n \\ &= \underbrace{(a_0 + a_1x + \cdots + a_{\lfloor n/2 \rfloor}x^{\lfloor n/2 \rfloor})}_{A_L(x)} + \underbrace{(a_{\lfloor n/2 \rfloor + 1}x + \cdots + a_nx^{n - \lfloor n/2 \rfloor})}_{A_H(x)} \cdot x^{\lfloor n/2 \rfloor} \\ &= A_L(x) + A_H(x) \cdot x^{\lfloor n/2 \rfloor}. \end{aligned}$$

$B(x)$  についても同様に  $B_L(x)$  と  $B_H(x)$  に分解する. これを用いると, 所望の式は以下のように書き直せる.

$$\begin{aligned} A(x) \cdot B(x) &= (A_L(x) + A_H(x) \cdot x^{\lfloor n/2 \rfloor}) \cdot (B_L(x) + B_H(x) \cdot x^{\lfloor n/2 \rfloor}) \\ &= A_L(x) \cdot B_L(x) + (A_L(x) \cdot B_H(x) + A_H(x) \cdot B_L(x)) \cdot x^{\lfloor n/2 \rfloor} + A_H(x) \cdot B_H(x) \cdot x^{2\lfloor n/2 \rfloor}. \end{aligned}$$

$A \cdot B$  を  $A_L \cdot B_L$  など半分のサイズの問題 4 つに分解できたことになるが, これでは得をしていない. そこで, 真ん中の項についてさらに変形をする.

$$\begin{aligned} A_L(x) \cdot B_H(x) + A_H(x) \cdot B_L(x) &= (A_L(x) + A_H(x)) \cdot (B_L(x) + B_H(x)) \\ &\quad - A_L(x) \cdot B_L(x) - A_H(x) \cdot B_H(x). \end{aligned}$$

これにより, 半分のサイズの解くべき問題が以下の 3 つになったことがわかる.

- $A_L(x) \cdot B_L(x)$
- $A_H(x) \cdot B_H(x)$
- $(A_L(x) + A_H(x)) \cdot (B_L(x) + B_H(x))$

よって, 分割統治のえらい定理から,  $O(n^{\log_2 3}) = O(n^{1.59})$  時間で  $A(x) \cdot B(x)$  を計算できることがわかる.